

令和6年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和6年9月23日(水) 14:00~15:00

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：12名

西原政好（県立宮古病院）、松村敏信（県立八重山病院）、本仲寛美（県立宮古病院）、名嘉律子（県立八重山病院）、友利寛文（那覇市立病院）、戸板孝文（県立中部病院）、有銘みどり（北部地区医師会病院）、外間早紀子（沖縄県保健医療部健康長寿課）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、有賀拓郎（琉球大学病院）、増田昌人（琉球大学病院がんセンター）

欠席者：4名

赤松道成（北部地区医師会病院）、安次嶺宏哉（沖縄協同病院）、吉田幸生（県立中部病院）、江藤甚之助（やいまゆんたく会）

陪 席：1名

谷口典子（琉球大学病院がんセンター）

【報告事項】

1. 令和6年度 第1回離島・へき地部会議事要旨について
資料1に基づいて、松村副部長より説明があった。各自内容確認後問題点があった場合、事務局へ連絡をすることとなった。
2. 今年度の委員及び部長、副部長について
資料2に基づいて、松村副部長より説明があった。
3. 若年がん患者在宅療養生活支援事業について
資料3に基づいて、松村副部長より説明があった。
4. アピアランス支援事業について
資料4に基づいて、松村副部長より説明があった。
5. その他
特に無し。

【協議事項】

1. 所掌分担領域の進捗の評価について
資料5に基づいて、増田委員より説明があった。
前回の資料とほぼ変更点が無い。施設にアンケートを実施し回答待ちと。
2. 離島・へき地における疾患別対応状況について
八重山病院の変更点は議事要旨最終頁に記載。

3. 離島・へき地における専門医の適正な配置状況について

・血液内科医や腫瘍内科医の必要性について、罹患者数に応じた専門医の配置が望ましいとの意見が出た。(特に罹患者数の多い癌に関しては、常勤の専門医が求められる。)

・救急医療や精神科医療、小児科医療など、地域特性を考慮した医療提供が重要であり、離島においては医療体制の整備が急務である。ロボット手術の導入について、コストの低下が進めば離島でも実施すべきとの意見があり、外科医の確保や教育が重要であるとされた。

・肺癌の治療に関して、薬物療法の体制を整える必要がある。呼吸器内科医の複数配置が望ましいとされた。放射線治療に関しては、専門医の常勤が望ましいが、非常勤医の頻度や体制の構築についても議論が必要である。患者会からは、腫瘍内科医の増員を求める声や、現状維持では不十分であるとの意見が出た。

4. 沖縄県離島患者等通院費支援事業補助金について

時間の都合上協議されず

5. ロジックモデルに若年がん患者在宅療養生活支援事業やアピアランス支援事業の項目を追加することについて

時間の都合上協議されず

6. 療養場所ガイドについて

時間の都合上協議されず

7. 次の開催日について

12月上旬を予定だが、10月中にもう一度開催できればと考えていると増田委員より提案があった。。

8. その他

特に無し。

※会議前に西原先生に確認した事項

離島・へき地における疾患別対応状況の変更点

- ・脳腫瘍：脳外科の医師が3名から2名・専門医が2名から1名に変更。
- ・甲状腺：非常勤の外科1名、甲状腺内分泌専門医1名追加。
- ・肺：医師の数、常勤3名から1名に変更。呼吸器専門医はゼロのまま。

.....

八重山病院 変更点

頭頸部 不明

甲状腺 手術・薬物療法×から△へ 外科医5名・専門医0名

食道 消化器内科医3名 専門医1名 消化器外科5名 専門医2名

肺 常勤呼吸器内科医3名（内呼吸器専門医3名）

乳房 外科医5名 専門医0名 手術は△へ変更（非常勤医師が来たときに行う）

泌尿器 不明

婦人科 おそらく変更無しだが調べると

皮膚 専門医0 手術○ 薬物療法× 下段の△については削除